保険証を忘れた方の対応方法

<**目次**>

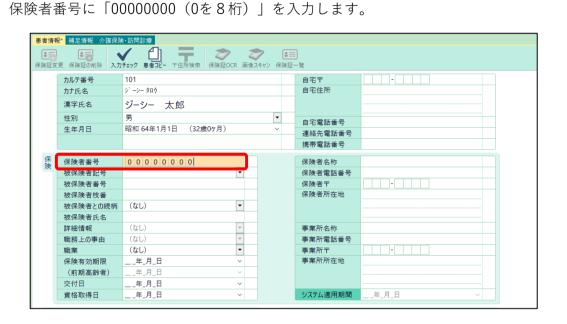
1.	患者負担10割でお会計をする場合の保険証登録方法	• • • •	P2
	・新患の場合		P2
	・既存の患者様の場合		Р3
2.	保険証を持参した時の保険証登録方法		P5
	・新患保険証忘れ、後日持参した場合		P5
	・既存患者保険証忘れ、後日持参した場合		P6
	① 以前と同じ保険証		P6
	②以前とは違う保険証		P7
3.	前回差額返金方法		P8
	・保険証持参当日、過剰金の返金のみ行う場合		P8
	・保険証持参当日治療を行い、当日請求金額と相殺を行う場合		P9
	・保険証持参当日治療を行い、請求・返金を別々に処理をする場合		P11
1	前回診療分(例・3割)の正しい割合の領収証の印刷(返金後の対応)		P13

2024.1.25版

1. 患者負担10割でお会計をする場合の保険証登録方法

~新患の場合~

(1) [新患登録(F5)]をクリックします。 対象の患者の氏名、性別、生年月日、住所、電話番号を入力します。



(2) [患者終了 (F11)]をクリックすると警告が出るので「保存 (+)」をクリックします。



(3) 院内患者画面に戻ります。

~既存の患者様の場合~

(1) 「患者原簿」を開いて[保険証の変更]をクリックします。変更内容の選択はそのままで[次へ]



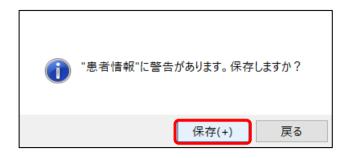
(2) 切替日の表示が本日の日付になっています。そのまま[次へ]、[完了]と進みます。



(3) 保険証が1枚追加されますので、保険者番号に「00000000(0を8桁)」を入力します。



(4) [患者終了 (F11)]をクリックすると警告が出るので「保存 (+)」をクリックします。



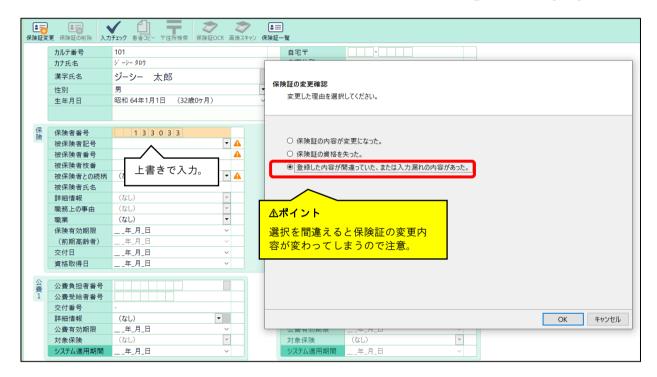
(5) 院内患者画面に戻ります。

2. 保険証を持参した時の保険証登録方法

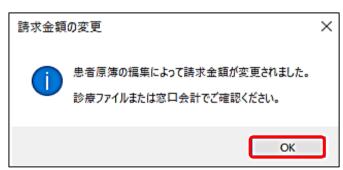
~新患保険証忘れ、後日持参した場合~

- →次回以降患者さんが来院し保険証をお持ちになりましたら、保険証の情報を上書きします。
- (1) 患者原簿を開き、保険者番号「00000000(0が8桁)」をバックスペースで消します。 持参した保険証の情報を入力します。

上書きすると保険証の変更の確認ウィンドウが表示されるので、3行目の 「登録した内容が間違っていた、または入力漏れの内容があった。」を選択し[OK]



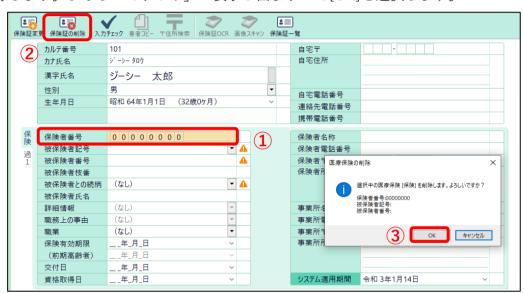
(2) 入力完了後、[患者終了(F11)]をクリックします。 「請求金額の変更」のウィンドウが表示されますので[OK]をクリックします。



~既存患者保険証忘れ、後日持参した場合~

- →2パターンありますので、どちらか確認して実行してください。
- ① 以前と同じ保険証だった(有効期限のみ変更になっていた)
 - (1) 患者原簿を開き、前回登録した保険情報(保険者番号「00000000 (0が8桁)」)にカーソルを合わせて「保険証の削除」をクリックします。

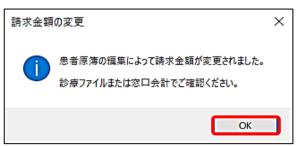
「削除します。よろしいですか?」の表示が出ますので[OK]を選択します。



(2) 保険証情報が表示されるので内容を確認し、有効期限等に変更があれば上書きします。



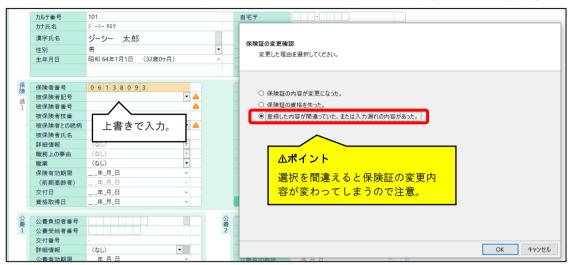
(3) 入力完了後、[患者終了 (F11)]をクリックします。 「請求金額の変更」の画面が表示しますので[OK]をクリックします。



② 以前とは違う保険証になっていた

(1) 患者原簿を開き、保険者番号「00000000(0が8桁)」をバックスペースで消します。 持参した保険証の情報を入力します。

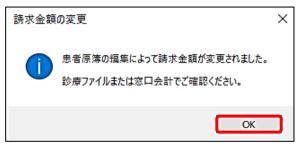
上書きすると保険証の変更の確認ウィンドウが表示されるので、3行目の 「登録した内容が間違っていた、または入力漏れの内容があった。」を選択し[OK]



(2) 登録後右下の「システム適用期間」の日付を確認します。 資格取得日、認定日、交付日のいずれかの日付になります。(新しい保険証が有効になる日)



(3) 入力完了後、[患者終了 (F11)]をクリックすると、「請求金額の変更」の ウィンドウが表示されますので[OK]をクリックします。



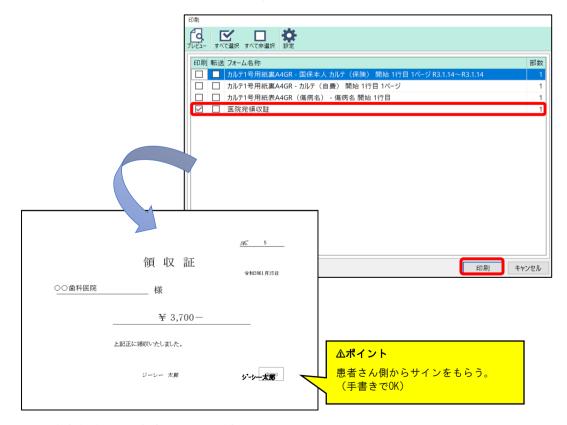
3. 前回差額返金方法

~保険証持参当日、過剰金の返金のみ行う場合~

(1) 保険証情報登録後に[窓口会計]を開き、過剰金を確認します。 (前回までの未収金欄に「-(マイナス)」表示されている金額が過剰金になります。) 預り金に返金する金額を入力、又は[全額入金]をクリックします。



(2) [印刷]をクリックし、「医院宛領収証」にチェックが入った状態で「印刷(+)」をクリック、医院宛領収証を印刷します。



※医院宛領収証は患者さんにお渡しするものではありません。 医院で保管をしてください。

~保険証持参当日、治療を行い当日請求金額と相殺を行う場合~

(1) 保険証情報登録後に[窓口会計]を開きます。

当日に治療を行い請求が発生した場合は、当日の一部負担金と過剰金を相殺した金額が表示します。

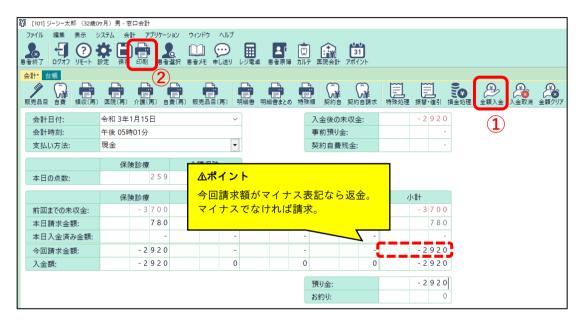
今回請求金額を確認し、お預かりした金額を[預り金]に入力、又は[全額入金]をクリック。

・今回治療請求金額が前回の過剰金より高い場合

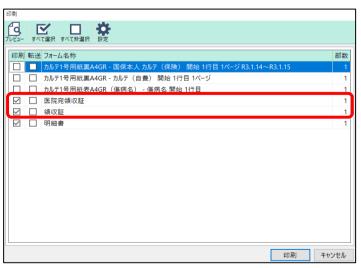
請求金額が発生します→お金を貰って下さい。

・今回治療請求金額より前回の過剰金のほうが高い場合

過剰金が発生します→差額の金額を返金してください。



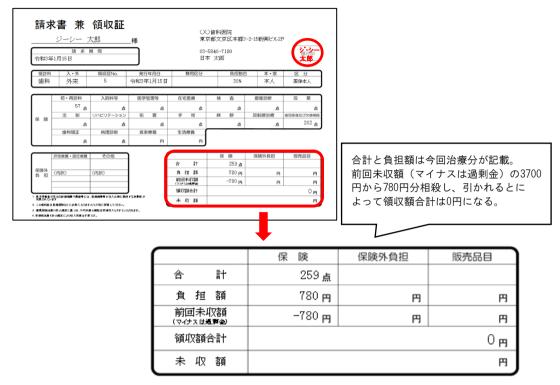
(2) [印刷]をクリックし、「領収証」「医院宛領収証」にチェックが入った状態で「印刷」をクリック、領収証と医院宛領収証を印刷します。



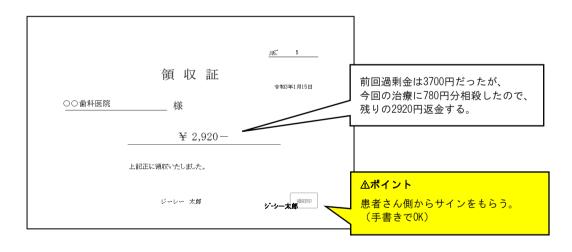


【印刷されてくる2枚の領収証】

①当日治療分の領収証



②返金分の医院宛領収証(医院控え)※返金がない場合は印刷されません。



∼保険証持参当日治療を行い、返金・請求を別々に処理をする場合(相殺しない) ~

(1) 保険証情報登録後に[窓口会計]を開きます。

相殺を行わない場合は[特殊処理]をクリックします。

「本日請求金額を入金します。」にチェックを入れて、該当する項目を選択し[OK]



(2) 本日の請求金額のみが入金処理され、前回分の過剰金が残ります。

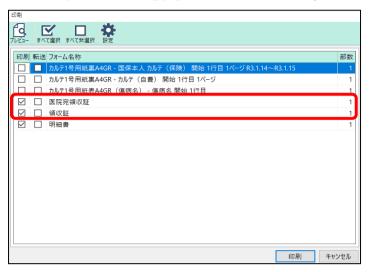


(3) 続いて前回過剰金分の返金処理を行います。

本日治療分の請求は処理済みですので、残りの返金分のみ未処理になっています。 [全額入金]をクリックします。

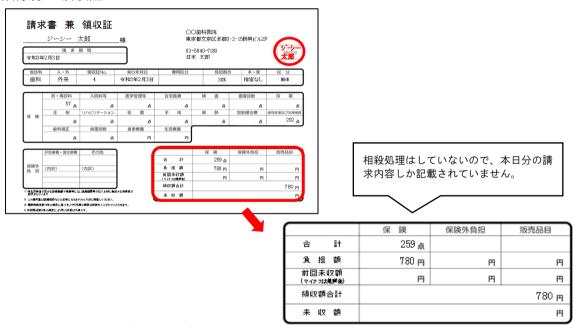


(2) [印刷]をクリックし、「領収証」「医院宛領収証」にチェックが入った状態で「印刷」をクリック、領収証と医院宛領収証を印刷します。

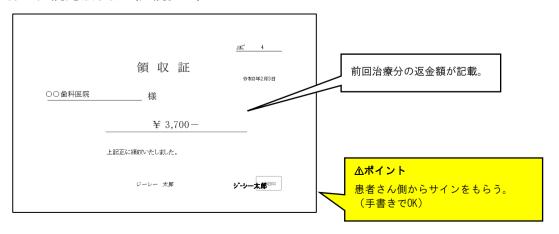


【印刷されてくる2枚の領収証】

①当日治療分の領収証



②返金分の医院宛領収証(医院控え)

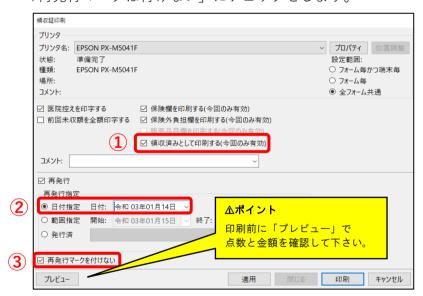


4. 前回診療分(例:3割)の正しい割合の領収証の印刷(返金後の対応)

- →保険証を持参し返金後、正しいの割合負担での領収書の印刷方法です。 前回お渡しした10割分の領収書は回収して下さい。
- (1) 窓口会計を開き、[領収(再)]をクリックします。



(2) 「領収済みとして印刷する(今回のみ有効)」にチェックします。 「日付指定」を保険証を忘れて治療した日(今回印刷したい治療日)に指定します。 「再発行マークは付けない」にチェックをします。



(3) 「印刷」ボタンをクリックします。

